

広報読者インタビュー

第320号（平成6年7月号）からスタートした「広報クイズ」。毎月、多くの読者の皆さんからいただくお便りは、広報紙編集の原動力です。そこで今回、感謝の意味を込めて、読者へ広報紙についての話を伺ってみました。

広報クイズ歴8年

ヤング代表

ながた ゆか
長田 侑花 さん
(辺田見・14歳)

広報ファンとして応援

最初に読むページは、必ず「みんなのひろば」と決めています。投稿したイラストが載っているか楽しみだからです。イラストが載っていると、学校で友だちとの話題になることもあります。これからの広報で、子どもでも簡単に作れるような料理のレシピがあると嬉しいです。これからも、大好きなキャラクター系のイラストを投稿して、広報ファンとして応援していきます。

広報クイズ歴5年

アダルト代表

はやしだ ただお
林田 忠男 さん
(木倉・74歳)

まちの身近な情報源

広報紙は、まちの身近な情報源として、毎号読んでいます。時折、知人が載っていることも楽しみのひとつ。記事に関しては、カルチャーセンターやスポーツセンターの催しを詳しく掲載されると、もっと多くの方が施設を利用されるのではないのでしょうか？また、地域の特派員（レポーター）を募集して、一緒に記事編集をされると紙面の幅が広がり面白くなるかもしれませんね。



毎月お便りをいただく、宮村むつ子さん（滝尾・58歳）、北野有玉衣ちゃん（10歳）、北野帆乃果ちゃん（6歳）、渡邊土桐くん（5歳）のご家族。心温まるお便り本当にありがとうございます。

親しみをもって読まれる
そんな広報紙でありたい

「広報みふね」は昭和40年5月から、それまでの「公民館報」に替わって創刊され約44年間、町の情報や話題を中心に町民の皆さんへ提供してきました。その歴史を振り返ると、現在のA4版（第305号）に至るまでには紙面の見直しを図る一方で、多くの町民の皆さんが登場するコーナーが掲載されています。この背景には、読みやすさ、見やすさ（レイアウト）、親しみやすさを追求して、一人でも多くの皆さんに手にとって読んでもらえるようにと歴代の編集者の想いがあります。

しかし近年は、インターネットや携帯電話の普及で、多大な情報（即座に入手することも可能）となりました。そうしたなか、紙媒体である広報紙の役割は、町民の皆さんにより身近で共有できる情報を中心にまとめて、分かりやすく発信することにあります。読まれて、考えられてこそ広報紙の意義があり、まちづくりへの住民参加につながるものではないでしょうか。

「広報みふね」が昭和40年5月に創刊して以来、今月号でついに500号となる節目を迎えました。そこで今号は、広報の歴史を振り返りながら、広報の役割や、そのあり方を考えていきます。



- | 450号 | 400号 | 300号 | 200号 | 100号 | 1号 |
|--|--|--|--|--|--|
| <p>◎第342号（平成8年5月号）スポーツセンター落成</p> <p>◎第366号（平成10年5月号）恐竜博物館オープン</p> <p>◎第384号（平成11年11月号）くまもと未来国体開催</p> <p>◎第438号（平成16年5月号）合併の可否を問う住民投票が実施。合併反対票多数</p> <p>◎第445号（平成16年12月号）御船高等学校が全国高校ロボット競技大会で初優勝</p> <p>◎第447号（平成17年2月号）御船中学校が全国中学生ロボット大会で初優勝</p> <p>◎第482号（平成20年1月号）谷川智紀選手（小坂）が世界ジュニアソフトボール選手権大会の日本代表に選出</p> | <p>◎第305号（平成5年4月号）B5版からA4版（縦297ミ×横210ミ）に変更、28ページ</p> <p>◎第307号（平成5年6月号）日本最古の「翼電化石」発見</p> | <p>◎第294号（平成4年5月号）カルチャーセンター落成</p> <p>★第305号（平成5年4月号）B5版からA4版（縦297ミ×横210ミ）に変更、28ページ</p> <p>◎第307号（平成5年6月号）日本最古の「翼電化石」発見</p> | <p>◎第278号（昭和57年9月号）御船クラブが全国家庭婦人バレーボール大会で優勝</p> <p>◎第205号（昭和59年12月号）役場庁舎落成</p> <p>◎第247号（昭和63年6月号）集中豪雨で壊滅的被害</p> <p>◎第263号（平成元年10月号）町消防団に内閣総理大臣表彰</p> | <p>◎第72号（昭和47年9月号）第1回があーっぱ祭り開催</p> <p>◎第110号（昭和52年1月号）九州自動車道（熊本―御船）が開通</p> <p>★第48号（昭和45年4月号）タブロイド判からB5版（縦257ミ×横182ミ）に変更表紙写真が初登場</p> | <p>★第1号（昭和40年5月号）「公民館報」に替わり、「広報みふね」が創刊。タブロイド判（縦406ミ×横273ミ）4ページ（隔月発行）</p> |

懐かしいあんな出来事が...

役場1階ロビー「情報公開コーナー」のパソコンで、過去の広報みふね（昭和40年5月号～平成14年3月号）を自由に閲覧できます。懐かしいあの人、に出会えるかもしれませんよ。



過去には、こんな特集記事も

第396号（平成12年11月号）で、イノシシにスポットを当てた特集「イノシシたちに残された道」（関連記事全8ページ）。イノシシが農作物にあたる深刻な被害状況とその背景を探りながら、被害対策などを踏まえて、多くのインタビュー記事を織り交ぜてまとめられた記事です。時に広報紙では、地域の実情を住民視点まで掘り起こしながら問題提起がされています。



広報年表

★印が主な変更 ◎印が主な出来事